

小学六年

国語

解答と解説

1

問一	①	21
ウ	⑦	22
イ	問二	23
三	万	24
円	の	25
問三	i	26
イ	ii	27
オ	iii	28
ア		29

問四	好	27
き	な	28
人	の	29
願	い	30
問五	エ	31
問六	ウ	32

問七				
い	と	よ	美	
る	を	く	優	
よ	気	使	の	
う	づ	っ	好	
に	か	て	き	
見	っ	い	だ	
え	た	る	と	
な	り	だ	い	
い	遠	け	う	
と	慮	で	気	
こ	し	、	持	
ろ	た	美	ち	
。	り	優	を	
	し	の	都	
	て	こ	合	

2

問一	ジ	37
ユ	ニ	38
ア	世	39
問二	1	40
エ	2	41
イ	3	42
ア	問三	43
イ		

問八	エ	34
問九	イ	35
問十	恋	36
人	同	
士		

問四	i	42
エ	ii	43
「	今	
」	と	
「	自	
分	」	
へ	の	
集	中	

		5		4		3															
⑥	株 式	65	①	尊 敬	60	①	オ	55	①	エ	50	問十	ウ	49	問八	ゾ	44	問五	ウ	44	
⑦	看 板	66	②	急 増	61	②	ウ	56	②	ア	51				ー	問六	エ	45	問六	エ	45
⑧	健 康	67	③	希 求	62	③	エ	57	③	オ	52				ン	問七	嫌	46	問七	嫌	46
⑨	興	68	④	改 革	63	④	ア	58	④	イ	53				入	問九	な	47	問九	こ	47
⑩	築	69	⑤	展 覧	64	⑤	イ	59	⑤	ウ	54				る	方	と	48	問八	を	48
															が	あ	を				
															り	こ	を				
															ま	を	を				
															せ	を	を				
															ん	を	を				
															。	を	を				

(配点)

①〔問一〕	各3点、〔問三〕	各2点、
〔問七〕	7点、	他各5点
②〔問二〕	各2点、	他各5点
③④⑤	各2点	

計150点

【解説】

① 額賀^{ぬかが}清^{しみず}の『ギブアンドテイク』10分後にココロに効く アオ

ハル ショートストーリーズ 気になるあの子 所収(フレー

ベル館)から出題しました。

彼氏^{かれし}の遼^{りょう}くん^にクリスマスプレゼントとして三万円のスニーカーがほしいと言われている、と親友の美優^{みゆう}から聞いた琴音^{ことね}が、遼^{りょう}くんへの違和感^{いわかん}を美優にぶつける場面です。

問一 A2 知識 比較

語句の意味を答える問題です。辞書の意味をもとにして、文章中の意味をとらえましょう。辞書的な意味を外れたものは解答にはなりません。知らなかった言葉は辞書で調べて覚え直しておきましょう。

① 「しかめつたら」は、不快や苦痛を感じてまゆや額にしわを寄せていやな表情をする様子を表します。したがって、ウが正解となります。

⑦ 「トゲが生えていた」は、琴音が美優に対してきついもの言い方をしたことを表しています。この後で「刺さった」という言葉が出てきていることから、その言い方が攻撃的^{こうげき}で相手を傷つけるようなものであることがわかります。したがって、イが正解となります。

問二 B1 関係つけ

美優の「新しいペンケース」に対して琴音が聞き返しているのが一つ目、それに対応して美優が「② ペンケースって、

どんなペンケースよ」と聞き返しているのが二つ目です。したがって、ふつうはペンケースとつながるはずがないと思われるような言葉が入るとわかります。琴音が、遼^{りょう}くんのねだつたスニーカーと美優がプレゼントとしてリクエストしたペンケースの値段がつり合っていないのではないかと考えていることから、「三万円の」が入ります。

※書き抜き箇所^{かしよ}が正解でも、誤字脱字^{だつじ}がある場合は不正解とします。

問三 B1 関係つけ 比較

適当な副詞^{くふうたん}を空欄に入れる問題です。

i 遼^{りょう}くんが琴音の机にすわって、自分の仲の良い友達と話している場面です。琴音の立場から見れば、遼^{りょう}くんは物事を深く考えておらず、無遠慮^{ぶえんりょ}で自分勝手に見えているはずです。このことから、イ「ガラガラと」が入ります。

ii お店の照明がマネキンに反射する様子として正しいものを選びます。カッコいいデザインで大人っぽさを感じさせるショートパンツからマネキンの真っ白な足が出ていることから、オ「ガラガラと」が入ります。

iii 直後の「燃えあがってきた」との対応を考え、ア「メラメラと」が入ります。

問四 B1 具体化 関係つけ

ここでは、琴音が美優と遼^{りょう}くんの関係について納得できないことが次々と列挙されています。美優は遼^{りょう}くんのことが好きだ

という気持ちからこのように遼くんのために応じているわけですが、琴音からするとそれは対等なやりとりではなくおかしいと感じているわけです。そのような行動をとってしまう理由を、美優自身は3ページ下段で「好きな人の願いはかなえてあげたいって思うじゃん」と説明しています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五

B1 関係づけ 比較

遼くんが琴音の席にすわって仲の良い友達といつまでも話している様子を離れた場所から見ている場面です。2ページ上段で語られているように、琴音は遼くんの行動によってチャイムが鳴るギリギリまで自分の席に戻れないことを不満に思っています。ここから、④にもそのことを直接言うのはためらわれつつも、早く自分の席に戻らせてほしいという気持ちを表す言葉が入ります。ア、イ、ウに関しては、この場面でのことについて琴音が考えていることを示す表現がないため、答えにはなりません。

問六

B1 理由 比較

線⑧の直前に「夏休み」とあることから、夏休みのショッピングモールの場面を探して戻しましょう。2ページ下段から3ページ下段にかけての場面です。3ページ下段で、「つきあっているふたりのことに、親友だからって私が口を出すのはおかしいって、そう思ってしまった」という琴音の心の声がかかれています。したがって、ウが正解となります。ア「美優との友情が壊れないか」、イ「遼くんに直接苦言を伝えた方がよさそう

だ」、エ「美優が煮え切らない態度を見せたので」がそれぞれ誤っています。

問七

B2 具体化 推論

線⑨の直後に「美優の〈好き〉って気持ちを、遼くんが都合よく使っているようにしか見えない」とあります。まずはこの部分が違和感の説明として適しているでしょう。また、それに続く場面で琴音が「つきあうつもりと対等な関係で、つきあっているからこそ相手のことを気づかったり遠慮したりするもんでしょ」と言っていることに注目すると、遼くんがそのような行動をしていないことが違和感の対象であるということもわかります。これらの内容を盛りこんでまとめましょう。

※設問の指示や字数・文字指定に従っていないものは不正解とします。ただし、誤字脱字が一つの場合は減点1点、二つある場合は減点2点、それ以上は不正解とします。また解答の説明に過不足がある場合は減点2点とします。

問八

B1 具体化 比較

「思う」と「想^{おも}う」がどのように使い分けられているかということについて説明したものから適当なものを選ぶ問題です。「思う」の方は通常の使い方、「考える」という意味ですが、「想う」は相手のことを考え、気配りをするという意味で使われています。したがって、エが正解となります。ア「相手を大事に扱う姿勢」、イ「本心を抑えこんだ」、ウ「相手に期待する心情」がそれぞれ誤っています。

問九

B1 具体化 比較

琴音の予想と異なり、美優は怒ったりそっぽを向いたりしていません。これは、完全に琴音の言う通りだとまでは思っていないけれど、自分の中で琴音の言う通りかもしれないという気持ちがあることを表しています。このことは、4ページ下段の「美優もさ、へんだなっと思ってたから、私にクリスマスプレゼントの話をしてくれたんじゃないの？」という琴音の言葉に対して「そう、だったのかも」と返していることからわかります。したがって、イが正解となります。ア「私」に強い憤りを覚えている、ウ「遼くんのことを嫌いになり始めている」、エ「以前のように戻りたい」がそれぞれ誤っています。

問十

B1 具体化 関係づけ

2ページ上段にあるように、美優はもととセミロングの髪をふたつしぼりにした髪型をしていました。彼氏の遼くんに言われて、彼の好みであるポニーテールに変えたのです。したがって、「ポニーテールではなくなる」ということは、美優が遼くんのおつきあいをやめる、彼女ではなくなる、ということを示しています。二人がクリスマスのところにどうなるか、という表現ですから、4ページ下段の「恋人同士」があてはまりません。また、3ページ下段に四字の「好きな人」という言葉がありますが、「ふたりが」という主語との関係を考えて「おたがい」という意味の言葉が入る必要があります。「おたはふさわしくありません」。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

2 菊池雄星の『こうやって、僕は戦い続けてきた。』理想の自分

に近づくための77の習慣』（PHP研究所）から出題しました。アメリカのメジャーリーグでピッチャーとして活躍する筆者が、プロ野球選手として考えたことをつづった文章です。

問一

B1 具体化 関係づけ

線①はアメリカ人の選手や中南米の選手についての情報です。この例は日本の選手と対比させ、ジュニア期にどのようなことを重視して指導されているかということについて述べるために置かれていると考えられます。アメリカ人の選手や中南米の選手のことを引き合いに出して、日本での指導について述べようとしているわけです。このことは、7ページ下段で「日本がいかにジュニア世代から選手たちに徹底的に技術を叩き込んでいるかの一端が垣間見える」と書かれています。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問二

B1 関係づけ 比較

空欄にあてはまる言葉を考える問題です。前後の内容どうしのつながりに着目し、言葉そのものの働きと合わせてふさわしいものを選びましょう。

《1》の直前では、プロの選手が不調に陥ったときには「思いつき力を出す」ということができなくなっているケースが多いと書かれています。これに対して直後では、「フォーム」を考え、「型」を意識するあまり、最も大切な「思いつきり」という感覚がどこかへ消えてしまう、という言い方で直前の内

容を言い換えてまとめています。したがって、エ「つまり」が入ります。

《2》の直前には、練習試合であればすぐに痛みを感じただろうということが書かれています。これに対して直後では、甲子園の試合中には痛みを感じなかった、ということが書かれています。前後の内容が反対になっていることから、逆接のイ「しかし」が入ります。

《3》の直後には「自分に関するニュースもほとんど見ません」とあります。直前に書かれた「SNSを見たり、エゴサーチをしたりしない」に続けて書かれていることから、並列の形になっていることがわかります。したがって、ア「また」が入ります。

問三

B1 具体化 比較

「棘」は比喩ですから、どのようなことをたとえた表現であるのかを正確につかみましょう。8ページ下段の表現から、「棘」は選手の自主性を指しており、「荒々しい」という表現とあわせて考えると、選手が「思いつき」力を発揮する状態と考えられます。さらに、日本のジュニア期の指導では、結果を出すことに固執して「型にはまる」ことを無意識のうちに選んでしまうケースが多い、と指摘されています。以上のことから、イが正解となります。ア「順番を逆にするとうまくいかない」、ウ「後で協調性をもってプレーするような余裕を身につけることはほとんどできなくなってしまう」、エ「自主性がすでに身につけている選手」がそれぞれ誤っています。

問四

i B1 理由 比較

「ゾーン」やそれに関する様々な情報については、9ページ上段に「いまだにはつきりとした答えは解明されていない」と説明されています。その理由の一つとして、筆者はアスリートが試合の最中に脳波計やさまざまな機械をつけながらプレーすることが現実的ではないことを挙げています。以上のことから、エが正解となります。ア「その時どのような状態であったのかを思い出すことは本人であっても難しい」、イ「ゾーンに入ることができなくなってしまう」、ウ「誰にでも伝わるような形で言語化することが難しい」がそれぞれ誤っています。

ii B1 具体化

ゾーンに入るための要素は、9ページ下段で説明されています。ここでは二つにわけて「今に集中している状態」「自分に集中している状態」が必要であると説明されています。字数の条件もふまえて探すと、☆☆☆の直後に『今』と『自分』への集中」という表現が見つかります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問五

B1 関係づけ 比較

直後に「なんだか悪い運氣まで持って帰ってきてしまいそうな気がする」とあることに注目すると、ウ「心霊スポットに行くようなもの」が当てはまります。

問六

B1 関係つけ 比較

プロスポーツの選手が新聞の記事を見てどう反応するかということを考えます。若いときはそのような反応をしていたが、今は自分の評価ぐらい自分でできなければいけない、と書かれていることから、他者の評価を見て喜んだり落ち込んだりしていたということだとわかります。したがって、エ「一喜一憂」が入ります。

問七

B1 理由 関係つけ

情報を自ら制限することの必要性を述べている部分です。情報を制限せずに受け入れた場合との対比を考え、自ら制限した方がよい点とはどのようなものかを考えましょう。10ページ上段では、SNSの書き込みでプロの選手も落ち込んだり怒りたくなったりするということが書かれています。つまりSNSの書き込みには自分に否定的なことが書かれていて、プロの選手であっても気持ちを動かされてしまい、平静でいられなくなるということです。筆者はそれを理解しているので、あえてそこに近づかないようにしている、というわけです。字数と前後のつながりを考えると、「嫌なことを書かれたり、言われたり」の部分が当てはまります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問八

B1 関係つけ

筆者の息子は「何時間外で遊び回り、家に帰ればノンストップでレゴブロックをつくり続ける」と書かれています。これはすなわち、その場その場ですぐに「ゾーンに入っている」状態

です。このことと字数の条件を組み合わせると、8ページ下段以降に何度か出てくる「ゾーンに入る」が当てはまることになります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問九

B1 関係つけ

抜けている文をもとの場所に戻す問題です。指示語や接続語、キーワードに注目して、抜けている文と内容的に近い内容が書かれている部分を探しましょう。また、実際に文を戻して読み直し、内容的にふさわしいかどうかを確認しておきましょう。

「反対もあれば、賛成もあるでしょう」という表現から、どちらの反応もあり得るようなことを意識して指定された範囲を読みましょう。10ページ上段で、SNSの書き込みについていろいろな意見があり、中でも否定的なことを書かれるとプロの選手でも怒ったり落ち込んだりする、ということが書かれています。したがって、「それに対してあらゆる反応があることは仕方がありません」の後にこの文が戻ることになります。

※書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

問十

B2 抽象化 比較

本文の内容と合っている選択肢を答える問題です。選択肢の内容と本文のどの部分が対応しているのかを考え、必ず本文と照らし合わせて正誤を検討しましょう。

ウの内容は、10ページ上段から下段にかけて書かれている内容と一致しています。

ア「自分の得意分野をみがいている」、イ「自分が他者からどう見られているかを気づかせてくれるメリットがある」、エ「試合に勝った時以外は」はそれぞれ、本文の内容と合いません。

3

A 1

知識

熟語の組み立てについて、同じ組み立てになっているものを選ぶ問題です。一字ずつバラバラにして、それぞれの意味がどのようなつながって熟語全体の意味になっているかを考えましょう。

4

A 2

知識 関係づけ

例文に当てはまる外来語を選ぶ問題です。英語由来のものが多くですが、ほかの言語から入ってきている言葉も多く存在します。言葉自体の意味を覚えるだけでなく、どのような場面で使う言葉なのか、一緒に出てきやすい言葉はないか、ということにも注目して覚えていきましょう。